

夏季企画展

織

り

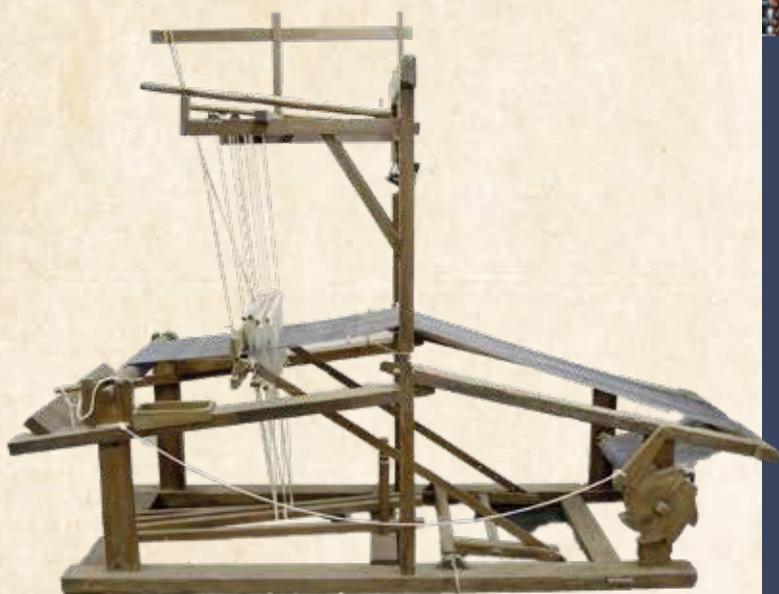
技術と

歴史

を

探

る



織物のまち、いちのみや。

世界につながる織物技術の発展と

暮らしや社会の歴史をたどります。

2023年

7月1日 土

～9月3日 日

9:00～17:00

※入館は16:30まで

休館日：毎週月曜日、7月18日(火)

※ただし7月17日(月・祝)は開館

美濃路×木曾川



ミュージアム

一宮市尾西歴史民俗資料館

一宮市起字下町211番地 TEL 0586-62-9711

入場  
無料

# 織りの技術と歴史を探る

資料館の位置する尾西地区をはじめ一宮市は、古くから「織物のまち」として発展しました。近年では、一宮市を中心に尾張西部から岐阜県西濃エリアに広がるテキスタイル産地として「尾州」の名が広く知られています。

当地の織物は、地機、高機から動力織機へ、また、麻や絹から綿織物、絹綿交織物そして毛織物へなどと、道具や素材・製品が移り変わりながら発展してきました。織物技術の変遷は、人々の暮らしや地域社会に大きな影響を及ぼしましたが、それは世界の歴史的な動きと結びついたものでした。

世界には、様々な織機や技法を駆使して生み出された多彩な織物があります。本展では、そうした織物の魅力としくみを体感していただくとともに、織物技術と「織物のまち」の歴史について考えます。



地機



山本直右衛門表彰記念額



毛織の茶

## 関連プログラム

### A 縄文の布をつくってみよう!

7月29日(土)  
13:30~15:30

参加費 500円  
定員 10名  
対象 小学校4年生から高校生

事前申込(抽選)  
7月15日(土)必着

### B はたお 機織りに挑戦

8月19日(土)  
13:30~15:30

参加費 500円  
定員 10名  
対象 小学校4年生から高校生

事前申込(抽選)  
8月5日(土)必着

### C 豊島記念資料館 展示見学会

解説付き

9月3日(日) 10:00~11:00

参加費 無料 定員 15名  
会場 豊島記念資料館 ※現地集合・解散  
(一宮市本町通8-11)

経済産業省の「近代化産業遺産群33」にも選定された貴重な織機などを学芸員が解説します。



事前申込(抽選)  
8月20日(日)必着

## 申込方法

オンラインまたはハガキにて期限内までにお申し込みください。

### オンラインで申し込む



必要事項を入力フォームにご記入ください。

<https://logoform.jp/f/gES6x>

### ハガキで申し込む

ハガキに必要事項をご記入の上右記の宛先まで郵送ください。  
※ハガキ1枚につき1家族分まで。

[宛先] 〒494-0006  
愛知県一宮市起字下町211番地  
一宮市尾西歴史民俗資料館

- 必要事項
- ①郵便番号
  - ②住所
  - ③参加者全員の氏名
  - ④電話番号
  - ⑤年齢(見学会希望の方は不要)

⑥希望するプログラム  
A B C のいずれかを  
ご記入ください。

## 美濃路×木曾川ミュージアム

一宮市尾西歴史民俗資料館

入場無料

一宮市起字下町211番地  
TEL 0586-62-9711  
休館日:毎週月曜、7月18日(火)  
※ただし7月17日(月・祝)は開館

アクセス: JR東海道本線「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、一宮駅西口バスターミナル2番のりばから名鉄バス「起(おこし)」行きで約20分「起」下車、徒歩5分。

